

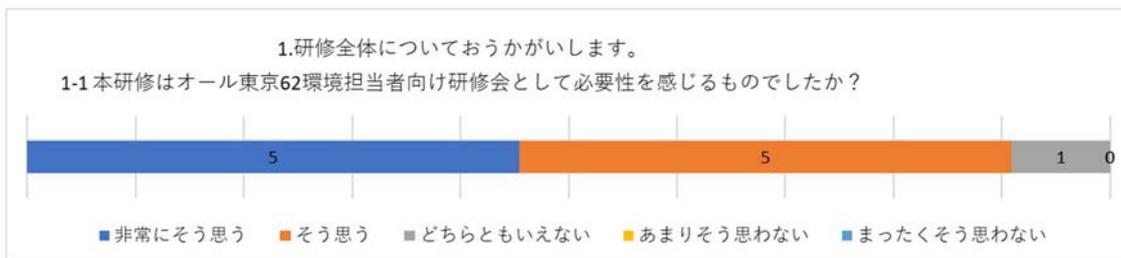
第 3 回環境担当者研修会 アンケート結果

当日参加状況（会場：むさしのエコ re ゾート）

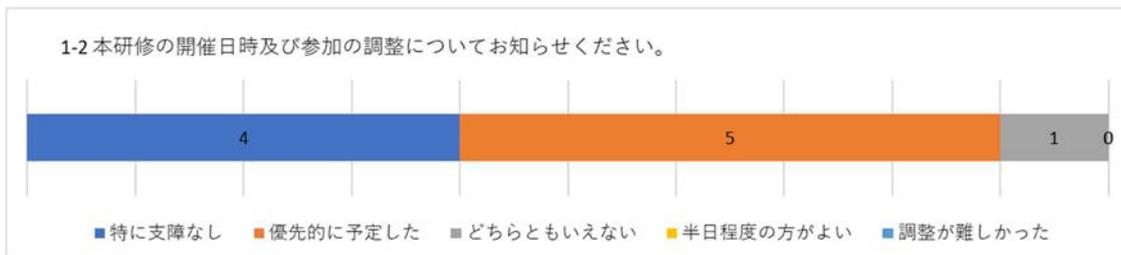
| | 出席者 | 欠席者 |
|----|------|-----|
| 人数 | 11 名 | 1 名 |

【設問 1】 本研修全体についておうかがいします。

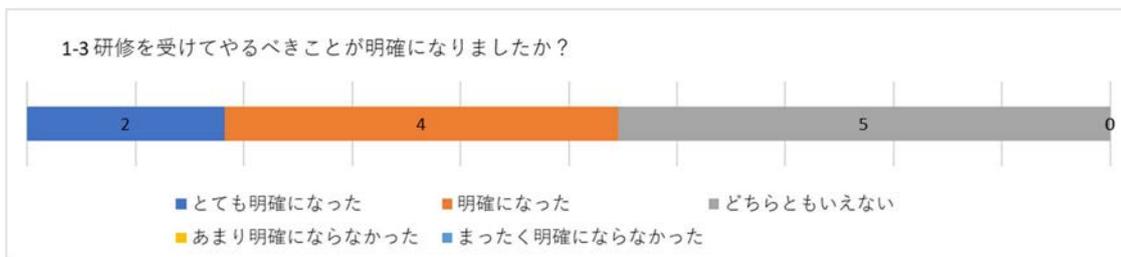
(1) 本研修はオール東京 62 環境担当者向け研修会として必要性を感じるものでしたか？



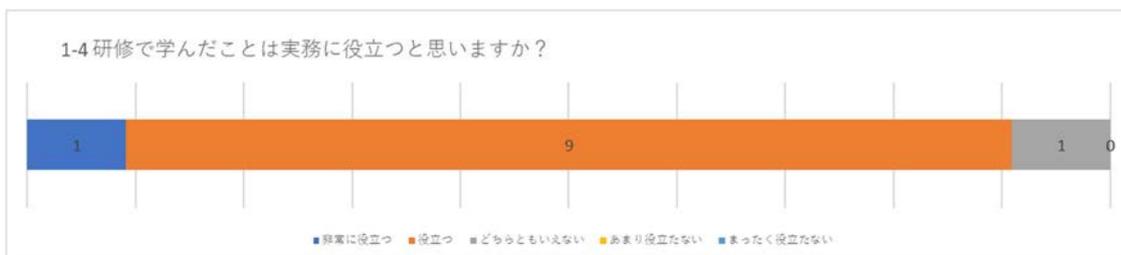
(2) 本研修の開催日時及び参加の調整について、お知らせください。



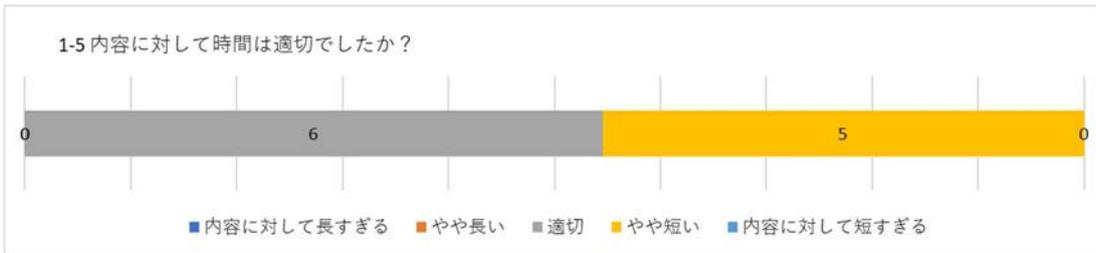
(3) 研修を受けてやるべきことが明確になりましたか？



(4) 研修で学んだことは実務に役立つと思いますか？



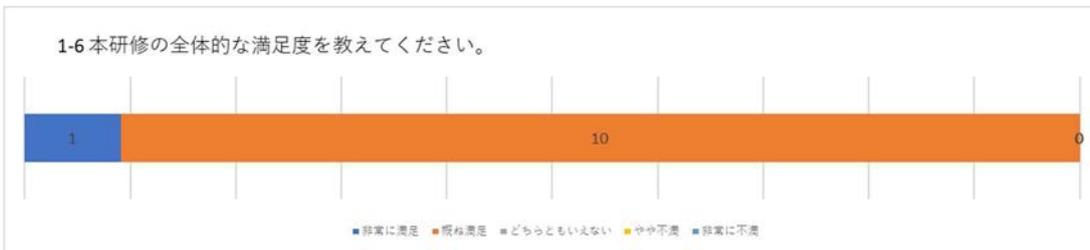
(5) 内容に対して時間は適切でしたか？



(5) についてコメントがあればお願いします。

- ・ 村上先生のお話を聞く機会を設けていただき、とてもありがたかったです。例えば各自でそれぞれの自治体に即した形で設計したワークシートを持ち寄り、他の自治体の職員から意見をもらうだとか、村上先生のご意見をいただければよかったですと思いました。

(6) 本研修の全体的な満足度を教えてください。



(6) についてコメントがあればお願いします。 →なし

(7) 研修の中で一番印象に残っている内容は何ですか？

- ・ 計画策定（改定）を前提としないやり方もあるということに個人的に驚きました。
- ・ 気候市民会議の疑似体験
- ・ 実際の会議をいきなりやってみて中々意見を出すのが難しかったので、会議設計のうち情報提供が非常に重要になると思いました。
- ・ ワーク2を受けての講師の方の回答
- ・ 疑似体験したことで、計画に反映されるような意見は短時間でなかなか出ないと実感しました。
- ・ 気候市民会議開催による市民対話・市民参加への期待と疑問
- ・ グループワークでの気候市民会議の疑似体験
- ・ 回覧いただいた委託の費用
- ・ 気候市民会議を計画しているため、疑似体験ワークが経験できてよかった。
- ・ 他自治体との担当者と交流を持つきっかけとなったこと
- ・ 気候市民会議の具体的な流れや、参加者からの視点を体験できたこと。

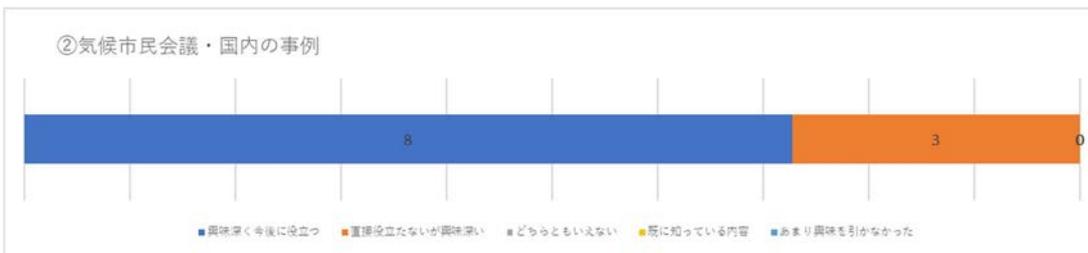
【設問2】

2.(1) 例報告の印象としてもっとも近い項目を選んでご回答ください。

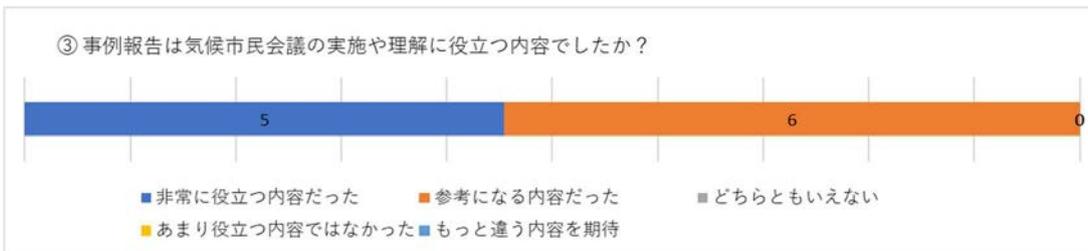
① 武蔵野市における気候市民会議



② 気候市民会議・国内の事例



③ 事例報告は気候市民会議の実施や理解に役立つ内容でしたか？



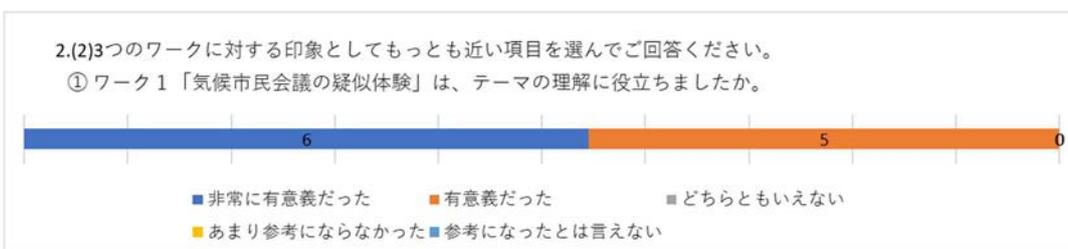
事例報告に期待することなど、ご記入ください。

- ・ 市民からのクレームなど、負の面についてもお聞かせ願いたい
- ・ 実施にいたるまでのプロセスや苦労した点をもっと知りたい。
- ・ 市民会議の予算化にあたっての経緯
業務委託先や委託仕様
無作為抽出ではなく、公募の場合での開催方法

【設問3】

2.(2) 3つのワークに対する印象としてもっとも近い項目を選んでご回答ください。

① ワーク1「気候市民会議の疑似体験」は、テーマの理解に役立ちましたか。



② ワーク 2「気候市民会議による市民対話・市民参加への期待と疑問」はテーマの理解に役立ちましたか。



③ ワーク 3 で実施できなかった「気候市民会議の基本設計整理表」を記入してみて、もしくは整理表を記入するつもりでご覧になっての手ごたえをお聞かせください。



追加してほしい項目やその他について具体的に記入してください

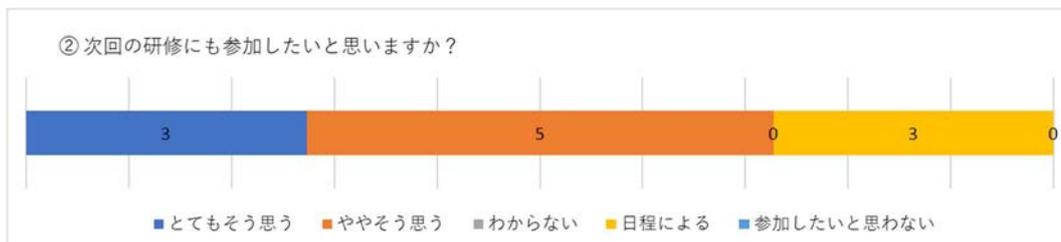
- ・ 予算規模別の基本設計イメージ (50万、100万、300万…など)

【設問 3】 そのほかについておうかがいします。

(1) オンラインではなく、対面での研修はいかがでしたか。



(2) 次回の研修にも参加したいと思いますか？



(3) 今回の研修会の良かった点、または改善点など、自由にお書きください。

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 有意義な研修をありがとうございました。 疑似体験をすることでイメージがつきやすかったです。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ オンラインでは他自治体の職員の方と意見交換や交流が難しいので対面式の実施はよかった。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 気候市民会議の疑似体験ができたのは今後の開催の検討において参考になりました。気候市民会議で実際に出た意見を紹介していただければ、行政側として普段見ている自分たちと、実際の気候市民会議で出る意見の相違を比較することができ、より気候市民会議の意義について考えることができるのではないかと感じました。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 対面でのグループワークを通じて、その議論するテーマに対する考え方の違いなどから、新たな気づきを得られた。また、休憩時間や研修終了後に行う意見交換はリアル開催ならではの非常に有意義な時間でした。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 気候市民会議を検討している自治体職員が対面で集まることで、それぞれが抱えている課題や意見を共有し、講師からもコメントを頂ける時間があつたことが非常に良かった。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 疑似体験時にファシリテーターがいたら、どのような進め方をするのかを参考に体験してみたい。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 終了時間が16時半頃ですと、各参加者も帰庁後の業務は難しいですので、時間を延長してカリキュラムを完了していただくのもよかったのではないかと感じました。 |

(3) 本日の研修内容に限らず、環境担当として業務遂行上で困っていること、取り上げてほしいテーマ・トピックスなど、お書きください。

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 温室効果ガスの排出量算定等について、専門性が足りず、自身で独自に算定することが難しいこと。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 森林環境譲与税の活用について |
| <ul style="list-style-type: none">・ 気候市民会議の将来的な発展性については理解しましたが、その効果を具体的な数値で示すことが難しいため、まずは開催に向けた予算化の審査をクリアすることが現実的に難しいのではないかと考えています。 |